

文月：第4話「1学期を振り返り」



朝から気温が上昇し、体調を崩す児童が出てはいけ
ないので、校内放送をつかって終業式を行い、子どもた
ちが1学期の努力したこととして、おもに3つのことを
話しました。

1つ目は、相手意識を持って話したり、聞いたりでき
るようになったことです。自分の考えを先生や友達に分
かりやすく
伝えるため
には、「相
手に聞こえ

るような声で話すこと」「理由をつけて話すこと」「友達
の考えにつなげて話すこと」「相手が話したことにコメン
トすること」等が挙げられます。先生たちも、学年で目標
をそろえて、学び合う授業に取り組みました。

2つ目は、時と場に応じた挨拶ができる児童が増えたこ



とです。特に、朝立ち止まって挨拶ができるよ
うになった人が、当初の20人から、200人
近くにふえました。朝通学路を歩いていますと、
玄関から出て子どもたちに明るく声をかけて
くださる地域の方がいらっしゃいます。また、
地域の方から、「子どもたちから挨拶をしても
らうと元気が出る」「立ち止まって感じのよい
挨拶が
できる

児童が増えた」という意見もいただきました。地域の方からは、
平素からたいへんお世話になっておりますので、これからも元
気で明るい挨拶をして、地域の方に元気をお届けできればと思っ
ています。

3つ目は、よいところみつけに取り組んだことです。学校行事
で見つけた友達がんばっているところ、自分が努力したところ
などをみつけて、作文に書きました。上学年は、入学式や遠足、
運動会、そして毎日の登校班など、リーダーとして、学校のため
に一生懸命がんばってくれました。初めての体験で、しんどかつ
たことやうまくいかなかったこともあったでしょうが、「与えら
れる人から、与える人へ」と、だんだん成長できているなあと感じました。行事の多い2学期が今から
楽しみです。

横浜家族がスタートして3ヶ月あまり。がまんする心と、他者を思いやる心を培った1学期となりました。

